

## 刈谷豊田総合病院 病床機能区分変更について

刈谷豊田総合病院では、当該構想区域の医療計画における当院の役割を鑑み、より高度な医療提供が必要とされる以下の特殊診療部門の病棟の医療提供体制を充実してきた。

- ・周産期母子医療センター30床：分娩室の改修・増設によりハイリスク分娩および感染症患者分娩の対応の充実を図った。
- ・脳卒中センター46床：脳卒中対策の365日24時間対応する高度救命医療機関として、急性期脳卒中に対する救急診療体制（緊急時治療、緊急時検査など）の充実を推進している。
- ・循環器センター43床：心筋梗塞等の心血管疾患対策の365日24時間対応する高度救命医療機関として、緊急心臓血管外科手術、緊急カテーテル検査の対応充実を推進している。

上記3病棟（センター）119床は、それぞれの対応充実により、入院料の施設基準は急性期一般1であるが、医療の提供内容は重症患者への対応であり、診療密度からも高度急性期病床である。

以上のことにより、刈谷豊田総合病院では、高度急性期病床は39床（救命病棟16床・ICU10床・CCU4床・NICU・GCU9床）から158床（+119床）としたい。

【表1】 刈谷豊田総合の病床機能

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
2022年7月1日 現在 刈谷豊田総合病院	39床	576床	83床			698床
変更後	158床	457床	83床			698床
増減	+119床	▲119床				±0床

【表2】 当該構想区域の2022年度病床機能報告結果

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
2025年の 必要病床数	585床	1,703床	1,770床	940床		4,998床
2022年7月1日 現在	387床	2,439床	858床	851床	129床	4,664床
差	198床 不足	736床 過剰	912床 不足	89床 不足	—	—

【表3】 当該構想区域の2025年度の予定

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
2025年の 必要病床数	585床	1,703床	1,770床	940床	—	4,998床
2025年の 予定数	509床	2,232床	851床	931床	—	4,523床
差	76床 不足	529床 過剰	919床 不足	9床 不足	—	475床 不足